

「あまりにも面白くて、自分も講談を勉強したいと思いました」

加納塩梅様

拝啓、晩秋の候、加納先生の素敵な講義をありがとうございました。  
先生のお話の中にでてきた てんかんの職員がてんかんのことを隠していたり、  
仕事中に困難に遭遇して、自己退職しようとしたこと、結局、本当のこと  
を言って受け入れられたお話は、とても心温まるものでした。

確かに、てんかん患者はどんな生活をしているか、どんなことを考えている、  
てんかんでどんな病気？それらについて、一般の人が知る機会があまりないので、  
てんかん患者にマイナスなイメージを持っています。その結果、てんかん  
患者たちも、病状を隠すことになりました。

しかし、先生は自分がてんかん患者であることを堂々と示し、自分の経験やて  
んかん患者の話を講談にして社会に発声することで、てんかんがどんな病気な  
のかを大衆にもっと理解させ、患者に対するイメージを変えることができると  
私は信じています。

中国で育った私は、先生の講義で初めて講談を聞いたので、とても新鮮で印象  
的でした。あまりにも面白くて、自分も講談を勉強したいと思いました。  
未筆ながら、先生の益々のご活躍をお祈り申し上げ、お礼といたします

国際医療福祉大学大学院

カク フウ